

① 2022年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. 地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

神戸市の目標である2030年に2013年比60%削減に向けて、燃料・電力の省エネルギー、太陽光発電導入、燃料転換、グリーン電力の購入などを通じてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2022年度のCO₂排出量は『4,473 t-CO₂』となり、前年比7%増加しました。この原因は、CO₂排出量の88%を占める電気の使用によるCO₂排出係数が前年比約10%悪化（0.318→0.350kg-CO₂）したためです。電力使用量は、下記「イ. 省エネルギーの推進」に記載の通りほぼ同等です。今後、省エネ活動の継続とグリーン電力の購入量の増加により、目標達成を目指します。

項目		2013年 (基準年)	2020年	2021年	2022年
CO ₂ 排出量	ガソリン、A重油、軽油 (t-CO ₂)	0	1	1	3
	都市ガス (t-CO ₂)	440	346	362	368
	※1 電気 (t-CO ₂)	2,833	3,274	3,554	3,921
	その他のガス (t-CO ₂)		259	※2 249	181
	合計 (t-CO ₂)	3,273	3,879	4,166	4,473

※1 バイオマス利用のグリーン電力の購入量を控除

※2 2021年のその他ガス修正（94→249t-CO₂）

イ. 省エネルギーの推進

当社では各エネルギー使用量の削減に取り組んでいます。2009年に燃料転換（A重油→都市ガス）を実施し、都市ガスの使用量は一旦増加しましたが、その後改善に取り組み削減しています。（2010年以降A重油・軽油は非常用発電機燃料として使用）2013年以降、電力使用量は、新技研館の竣工、ダンロップスポーツ社との合併、大型試験設備の導入などにより大幅増加しています。対前年では、2022年は試験設備の増設で2%電力が増加しましたが、省エネルギーの効果で相殺し、前年とほぼ同等に抑制できました。

項目		2013年 (基準年)	2020年	2021年	2022年
ガソリン、A重油、軽油	使用量(L)	0	200	236	1,200
都市ガス	使用量(m ³)	190,582	154,274	161,323	164,029
電気	※ 購入量(kWh)	8,590,062	13,734,725	15,102,359	15,207,109

※バイオマス利用のグリーン電力を含む

ウ. 埋立廃棄物量の削減、リサイクルの推進

目標である「ゼロエミッション※の維持」は、達成できました。

開発試作品のリサイクル、廃プラスチック類のリサイクル、建設廃材のマテリアルリサイクルの推進などに取り組み、目標を達成しました。

今後もゼロエミッションの維持に取り組めます。

※ゼロエミッション：廃棄物埋立率(廃棄物発生量に対する直接埋立廃棄物量の比率)が1%未満

項目	2013年	2020年	2021年	2022年
廃棄物埋立率 (%) (直接埋立廃棄物量/廃棄物発生量)	1.0	0.0	0.4	0.0

② 公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目標項目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
大気汚染防止	対象施設無し (都市ガス燃料の吸収式冷温水機を2022年3月に廃止)	/	/
下水神道戸条市例	排水水質規制値の遵守	排出にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていました。 別表1参照	排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、排水の汚濁状態測定を計画的に実施し、規制値の遵守状況を確認しました。
び騒音兵庫規程及	騒音規制値の遵守	騒音にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていました。 別表2参照	騒音発生施設の適正な維持管理に努めるとともに、騒音測定を計画的に実施し、規制値の遵守状況を確認しました。
び振動兵庫規程及	振動規制値の遵守	振動にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていました。 別表3参照	振動発生施設の適正な維持管理に努めるとともに、振動測定を計画的に実施し、規制値の遵守状況を確認しました。

別表1 排水に係る水質測定結果

項目	測定値		規制値
	Min.	Max.	
水素イオン濃度	6.4	8.0	5~9
鉛及びその化合物	0.01未満	0.01未満	0.1mg/L以下
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	0.0005未満	0.0005未満	0.005mg/L以下
亜鉛及びその化合物	0.02未満	0.57	2mg/L以下

別表2 騒音に係る測定結果

時間帯	測定値 (5ポイント)		規制値 [dB]
	Min.	Max.	
朝 (6時 - 8時)	56	70	70以下
昼 (8時 - 18時)	54	70	70以下
夕 (18時 - 22時)	55	69	70以下
夜間 (22時 - 6時)	48	60	60以下

別表3 振動に係る測定結果

時間帯	測定値 (5ポイント)		規制値 [dB]
	Min.	Max.	
昼間 (8時 - 19時)	30	48	65以下
夜間 (19時 - 8時)	30	38	60以下

③ 地球温暖化対策に係る報告

ア. 2022年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計(CO ₂ 換算)
					kg-CO ₂ /MJ	kg-CO ₂		kg-CO ₂
燃料の使用	原料炭		kg	28.9	0.0867		1	
	ガソリン	400	ℓ	34.6	0.0671	929	1	929
	A重油	800	ℓ	39.1	0.0693	2,168	1	2,168
	B重油		ℓ	40.4	0.0705		1	
	軽油	0	ℓ	37.7	0.0686	0	1	0
	LPG		kg	50.2	0.0598		1	
	都市ガス	164,029	Nm3	45.0	0.0499	368,327	1	368,327
	その他(廃棄物等)				42.3	0.0762		1
※1 電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	11,203,061	kWh		※2 0.35	3,921,071	1	3,921,071
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ		0.067		1	
合計						4,292,495		4,292,495

※1 グリーン電力使用分を控除：15,207,109 - 4,004,048 = 11,203,061kWh
(購入電力量) - (グリーン電力)

※2 2021年度調整後排出係数(事業者全体) 0.350kg-CO₂/kWh
電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)
環境省・経済産業省公表、R5.5.26一部修正より

イ. 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	排出量目標 (kg-CO ₂)		排出量実績 (kg-CO ₂)		基準年比(%)	
	今年度(2022年度)	2030年度	基準年度(2013年度)	今年度(2022年度)	今年度	2030年度
二酸化炭素	3,877,207	206,000	3,273,000	4,292,495	131.1%	6.3%
メタン	8,924	8,032		12,034		
一酸化二窒素	1,221	1,100		1,647		
HFC	83,182	74,864		167,000		
PFC						
六フッ化硫黄						
合計	3,970,534	289,996	3,273,000	4,473,176	136.7%	8.9%

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	目標	実施状況
1	グリーンエネルギー利用	太陽光発電の利用の継続	前年実績同等の継続	44,976kWh 前年比102%
		バイオマス利用のグリーン電力購入の継続	前年実績同等の継続	4,004MWh 前年比102%
2	エネルギー使用の合理化	空調機の室内温度の適正化、昼休みの一斉消灯	徹底	徹底
		LED照明などの省エネタイプ照明の導入拡大	電力削減：60,000kWh	64,594kWh削減
		空調機の更新	電力削減：3,000kWh 都市ガス削減：160m3	電力：3,206kWh削減 都市ガス：160m3削減
		その他(エア-漏れ対策、電気の小改善)	-	11,198kWh
		その他ムダ排除活動	徹底	徹底

④ 公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

2022年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	環境管理システムの維持向上	ISO 14001グローバル統合認証の維持	-	2022年更新審査の受審、認証継続	達成 2022年10月更新審査を受審、登録更新完了
		コーポレート監査、内部監査の実施	-	本社及び全製造拠点で計画的に実施 (1回/年)	達成 本社地区：全67部署 製造拠点：全27拠点
2	プラスチックに係る資源循環の促進	製品の梱包、包装用プラスチックの削減	タイヤラベル、店頭POP削減 テニスボール等の梱包プラ削減 産業品の製品包装プラ削減	2030年に2019年比40%削減	2019年比114% 基準年比増加したが、今後削減の取り組みを強化
3	廃棄物の適正処理・減量	ゼロエミッションの維持	維持	維持 (1%未満)	達成 (0%)
		分別回収	缶、瓶、紙などの分別	徹底	達成 (徹底)
		コピー用紙の使用量削減	コピー用紙の使用量削減	徹底	達成 (徹底)
			ミスコピー紙の再利用	徹底	達成 (徹底)
4	再生製品等の使用	グリーン購入の実施	文房具 機械器具・備品 サービス	前年実績以上	達成 (前年実績以上)
		再生紙の使用促進	コピー用紙、パンフレット等の再生紙利用	100%維持	達成 (100%維持)
5	自動車対策	低公害車・低燃費車の導入	社有車の低公害車・低燃費車比率を高める	前年実績以上	達成 (80.4%で対前年0.1ポイント増)
		マイカー通勤の禁止	原則禁止の維持	原則禁止	達成 (100%)
		出張時の公共交通機関利用の促進	-	徹底	達成 (徹底)
6	緑化活動	植樹	「郷土の森づくり」活動	計画的な植樹、 下草刈り、伐採、間伐を行い、理想的な里山の整備と維持を行う。	達成 (以下の計画通り) ・活動拠点：11ヶ所 ・植樹：5回 ・整備：13回 ・延参加人数：236名